



咲洲西護岸における藻場創出の多面的な効果把握

令和8年6月

大阪府

目次

1. 目的.....	1
2. 調査実施日.....	1
3. 調査内容.....	1
3.1 現地調査の内容.....	1
3.1.1 水質の目視・測定.....	1
3.1.2 一般観測項目・天候.....	2
3.1.3 潜水目視観察および水中ドローン観察.....	3
3.1.4 海藻種の採取.....	4
3.2 調査地点の詳細.....	5
3.3 有識者ヒアリング.....	7
4. 港湾エリアでの藻場創出による多面的な効果.....	8
4.1 咲洲西護岸におけるワカメ場の機能と効果.....	8
4.1.1 咲洲西護岸におけるワカメ場の創出状況.....	8
4.1.2 ワカメ場が有する効果.....	15
4.1.3 ワカメ場による水質浄化効果.....	17
4.1.4 咲洲西護岸に隣接する大阪南港野鳥園の湿地が有する水質浄化機能.....	37
4.1.5 ワカメ場による炭素固定効果.....	38
4.1.6 ワカメ場による生物生産・創出効果.....	39
4.1.7 咲洲西護岸における生物の多様性等.....	50
4.1.8 参考資料.....	54
4.2 藻場面積の把握およびCO ₂ 吸収量.....	55
4.2.1 対象面積の算定方法.....	55
4.2.2 対象期間と実施場所.....	56
4.2.3 対象とする面積.....	62
4.2.4 観察結果.....	64
4.2.5 分布面積の算出.....	82
4.2.6 吸収係数.....	88
4.2.7 ベースラインの設定方法妥当性とその量.....	102
4.2.8 確実性の評価.....	106
4.2.9 クレジット認証対象の吸収量.....	107
5. 有識者ヒアリング概要.....	108
6. 謝辞.....	108
7. 参考資料.....	108